

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 社会福祉法人 高橋福祉会

評価実施期間 平成29年4月1日～平成30年1月22日

## 1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号

## 2 事業者情報

【平成29年8月31日現在】

事業所名称： 高橋保育園	サービス種別： 保育所
開設年月日：昭和28年10月1日	管理者氏名 上鑑 貞雄
設置主体：社会福祉法人高橋福祉会	代表者 職・氏名 理事長 福地 政典
経営主体：社会福祉法人高橋福祉会	代表者 職・氏名 理事長 福地 政典
所在地：〒899-3404 鹿児島県南さつま市金峰町高橋2069番地	
連絡先電話番号：0993-77-1557	FAX番号：0993-76-0223
ホームページアドレス	E-mail：takahashihoikuen@oboe.ocn.ne.jp

## 理念・基本方針

子どもの生きる力を育て、利用される方々の支援に最善を尽くし、地域から愛される保育園を目指す。

○保育を必要とする子どもたちにとって、子どもの最善の利益を考え、最もふさわしい生活の場を提供し、この福祉に対し保護者や地域の方々と共に積極的に増進する。

○子どもの人権を尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ、乳幼児期にふさわしい経験を積み重ねられるように養護と教育を一体的に展開する。

○地域の子育て家庭に対し、専門的知識や技術を生かして対応し、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、地域に開かれた子育ての支援の場として役割を果たす。

【施設・事業所の特徴的な取組】

1、	統合保育を通して、健常児も障がいを持った子どもにとっても皆がより力を延ばせる子に育って欲しいと願い、同様に保育を受ける権利があるものと理念をかかげ、幼いうちからバリアフリーな心が育って行ける統合保育を行っている。
2、	地域の伝統行事やふれあい活動を通して密に交流を深めている。また、食育活動にも力を入れ地域の方を交え米作りの一連（田植え・稲刈り・脱穀・餅つき）体験を行っている。
3、	4歳児から「和太鼓」を取り入れ皆で目標に向かい、一つのものを完成する達成感と感動を味わう経験と「絵画」活動を通して、心を育てる一環として絵から心情を読みとり保育・子育て支援に役立てている。

【利用者の状況】

定員	60人	利用者数	67人
----	-----	------	-----

※ 施設種別ごとに、利用者の年齢階層、利用期間、障害の程度・内容など、その施設の特徴が明らかになるようなデータを適宜添付してください。

(2)現在の利用者数

	合計(人)	男子(人)	女子(人)
1歳未満	5	4	1
1歳以上2歳未満	11	6	5
2歳以上3歳未満	11	6	5
3歳以上5歳未満	23	10	13
5歳以上	17	7	10
計	67	33	34

(3)入所理由別利用者数 (2)の内訳

親の就労	42人	100%
親の病気・入院	人	%
親の介護・病人の世話	人	%
その他	人	%
合計	42人	100%

## 【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数	
	常勤(人)		非常勤(人)				
	専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1				1	1	
主任保育士	1				1	1	
保育士	10		7		14.2	9	
栄養士	1				1	0	
調理員			2		1.2	2	
事務員	1				1	0	
子育て支援員	2				2	0	
計	16	0	9	0	21.4	13	
前年度採用・退職の状況			採用	常勤	3 人	非常勤	0 人
			退職	常勤	2 人	非常勤	1 人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					7年2ヶ月		
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					7年8ヶ月		
○常勤職員の平均年齢					37 歳		
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢					35 歳		

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

## 3 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年4月1日（契約日）～ 平成30年1月22日（評価結果確定日）
受審階数（前回の受審時期）	0 回（平成 年度）

## 4 評価の総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>職員参画のもとで理念を作成、保育課程及び事業計画で明文化・具体化し、保護者への周知を繰り返し図るとともに、保育理念にもとづいた保育が実践されているかを定期的に振り返り、中長期計画や事業計画に反映することで保育の質の向上に努めている。これらの取り組みが職員主体で展開されるよう、園長は主任・リーダーを通してリーダーシップを発揮する仕組みを構築している。</p>
---

◇改善を求められる点

自己評価や保育の振り返りの結果を文書化し、課題解決に向けた実行計画を  
中長期計画・事業計画へと反映させるとともに、地域への様々な活動を通して  
地域の福祉ニーズを把握し、ニーズにもとづく公益的な事業・活動を展開する  
取り組みが望まれる。

5 第三者評価結果（別紙）

6 利用者調査の結果（本文に挿入済み）

7 事業者の自己評価結果(別紙)

8 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今までは園独自の自己評価表を基に職員や保護者の評価を経て園を評価し  
てきましたが、評価の範囲や内容の適・不適、組織内的な評価のため実情より  
高い評価結果になったことなどに疑問を感じていました。

今回、「福祉21かごしま」様の福祉サービス第三者評価を受けたことによ  
り、自己評価等の仕方や改善すべき課題が見つかりました。今後は自己評価を  
含め諸書式の見直しを図りつつ与えられた課題の解決に取り組み、地域の福祉  
ニーズに沿った公益的な事業や活動の展開を目指します。